

3月19日に名古屋大学で行われた、平成23年度日本生物物理学会中部支部講演会において、私たちの研究室の薬学科6年生 雲井健太郎さんが「古細菌タンパク質 PbaB によるプロテアソーム活性化機構の構造基盤」の研究発表により、最優秀発表賞金賞を受賞しました。

